

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名	みらくる 楽さん家	公表日	令和6年2月26日
------	-----------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数に適した広さがあります。個別課題の時間は、パーティションで区切り、集中しやすい環境にしています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用人数に応じて職員数を配置しています。定員4名に対して、3~4名の職員を配置しています。	欠席者が出た時等、職員の配置が多すぎることがあるため、子どもの依存につながらないよう距離感を意識していく必要がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		1階の児童発達支援のフロアは、完全なバリアフリーではありませんが、絵カード等を使用し、情報伝達の配慮は行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動に応じてパーティションを設置する等して活動しやすい環境を整えています。	建物の構造上、冬場は足元が寒く、床が滑りやすいため、改善が必要と感じています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者アンケート結果を支援に活かせるよう努めています。	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者には紙媒体で配布し、事業所玄関に結果を置き、ホームページにも掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価を受審していません。	今後、受審体制を整えば検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○	内部研修の開催やこども発達支援部会の研修、YIC主催の専門研修等に参加しました。研修後には他の職員に復命をしています。	研修参加が一部の職員に限られてしまったため、できるだけ多くの職員に参加の機会を確保していきたい。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者のニーズも伺いながら、子どもの課題、ニーズに応じて個別支援計画書を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントツールを使用しています。防府市から出されているサポートファイルも活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに示される項目から具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動中の子どもの様子や課題の達成具合を見ながらプログラムを再考しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日によっては打ち合わせの時間が十分に確保できていない時もあります。	支援の内容は確認しているものの、役割分担の確認が十分できていないこともあるため、改善していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回記録をとり、支援の検証・改善につなげています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1回個別支援計画書の見直しを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事前に子どもの現状と課題を確認し、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		市の保健師やこども家庭課、障害福祉課、他事業所と必要に応じて情報共有して連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	医療的ケアを必要とする利用児が在籍していません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアを必要とする利用児が在籍していません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて保育所や幼稚園に直接連絡をとったり、訪問させていただき、情報共有を行っています。	相互理解まで至っていないところもあるため、引き続き事業所からの情報発信を続けていきたいと思ひます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相談支援専門員を通じて情報共有を行っています。必要に応じて直接連絡したり、担当者会議等で情報共有をしています。	相互理解まで至っていないところもあるため、引き続き事業所からの情報発信を続けていきたいと思ひます。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今年度は児童発達支援センター(防府市なかよし園)主催の研修に参加できませんでした。	困った時には、積極的にセンター機能を活用したいと思ひます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現状では交流の機会を持っていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		防府市子ども発達支援部会や研修部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳を通じて子どもの様子や変化を共有できるように努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて助言等を行っています。ペアレント・トレーニングは行っています。	研修受講等で更に専門性を高め、適切な助言ができるように努めています。

保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。ご質問があった時にはとの都度お答えしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援ガイドラインに示される項目から具体的な支援内容を設定しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談があった時には、その都度対応しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度は、参観週を設け、その後保護者会の開催を企画しましたが、参加者が少なく、保護者同士のつながりを十分つくれませんでした。	来年度は、参観週を複数回企画し、保護者同士の交流が持てるよう改善していきます。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情については速やかに検討を行い職員全体で共有、児童や保護者への対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信などは特に作成していませんが、活動予定表を毎月お配りしています。活動写真は個別に保護者にお送りしています。	
	38	個人情報に十分注意しているか	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもには絵カードや写真カードを用いて配慮しています。保護者とは連絡を取りやすい方法で情報伝達を行っています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度は地域交流の機会を設けていません。	感染症の流行状況を慎重に見極めながら、交流の方法を検討していきます。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを策定しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回避難訓練を実施します。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		スタッフミーティングで研修を行っています。	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束はしませんが、安全管理上の理由から玄関を施錠しており、計画書にも明記しています。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時にアレルギーの確認をしています。	
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ひやり・はっと報告書を作成し、原因の振り返りと改善策の検討を行っています。	